

科目	教職実践演習	担当	田中 信幸	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

【授業目標・到達目標】

教職実践演習は、教員免許状取得予定教科に関する科目及び教職に関する科目の履修状況を踏まえ、教員として必要な知識技能を修得したことを確認するものである。具体的には、使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項、社会性や対人関係能力に関する事項、生徒理解や学級経営等に関する事項、教科内容等の指導力に関する事項について確認をする。

本演習を通じて、将来、教員になる上で、自己にとって何が課題であるのかを自覚し、不足している知識や技能等を補い、その定着を図ることにより、教職生活をより円滑にスタートできるようにすることを目標とする。

【履修注意】

教職課程を履修している学生だけを対象とする。

欠席は4回までとする。また、遅刻2回で欠席1回とする。

パソコンを持参すること。

【評価方法】

演習への参加意欲、集団討議やロールプレイング、ロールレタリングの態度や内容、提出物、小論文、意欲や態度により評価する。

【試験について】

定期試験は実施しない。毎時間、討議、ロールプレイング、ロールレタリング等の演習又は提出物を課す。

再試験対象者の条件： 再試験は実施しない。

【予習・復習】

2単位科目は90分の授業に対して90分の家庭学習(予習、復習)が必要である。授業時に家庭学習の内容について指示する。

【教科書】

購入教科書なし

【参考書】

【その他の注意事項】

【授業計画・内容】

回数	項目	内容
1	集団討議Ⅰ	使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項Ⅰ
2	集団討議Ⅱ	使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項Ⅱ
3	集団討議Ⅲ	使命感や責任感、教育的愛情等に関する事項Ⅲ
4	集団討議Ⅳ	社会性や対人関係能力に関する事項Ⅰ
5	ロールプレイングⅠ	社会性や対人関係能力に関する事項Ⅱ
6	学校現場の見学と支援Ⅰ	学校行事、総合的な学習の時間の補助Ⅰ(重点は社会性)
7	集団討議Ⅴ	学校現場と社会性
8	ロールプレイングⅡ	生徒理解や学級経営等に関する事項Ⅰ
9	ロールレタリングⅠ	生徒理解や学級経営等に関する事項Ⅱ(不登校生徒への対応)
10	学級経営案の作成	生徒理解や学級経営等に関する事項Ⅲ
11	学校現場の見学と支援Ⅱ	学校行事、総合的な学習の時間の補助Ⅱ(重点は児童生徒理解)
12	集団討議Ⅵ	学校現場と児童生徒理解
13	模擬授業Ⅰ	教科内容等の指導力に関する事項Ⅰ
14	模擬授業Ⅱ	教科内容等の指導力に関する事項Ⅱ
15	ロールレタリングⅡ	教科内容等の指導力に関する事項Ⅲ(生徒からの苦情への対応)
16	資質能力の確認、まとめ	コミュニケーション力の向上、履修カルテの確認、総まとめ